

# 平成30年度入学生用カリキュラムマップ

【生活環境学研究所 建築学専攻 修士課程】

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号													
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目													
					A. 高い知性				B. 善美な情操		C. 高 雅な 特性	D. 高い知性、善美な情 操、高麗な徳性の総合						
					A-1	A-2	A-3	A-4	B-1	B-2	C	D-1	D-2					
18MARC1110	建築設計インターンシップⅠ	1・2	建築設計の実務実習により、設計事務所で行われる様々な建築設計・工事監理関連の実務を体験し、建築設計や工事監理の実務内容およびそのプロセス、構造・設備設計者などと協働した建築総合化の手法など、建築設計・工事監理実務の全体像を理解することを目的とする。	建築設計・工事監理の実務にかかわる実践的知識を理解することにより、社会の仕組みや現代社会の問題点を理解する能力を身につけ、自律的活動ができる職能人としての自覚を形成する。								○	○	○	◎	○	○	
18MARC2110	建築設計インターンシップⅡ	1・2	建築設計の実務実習により、設計事務所で行われる様々な建築設計・工事監理関連の実務を体験し、建築設計や工事監理の実務内容およびそのプロセス、構造・設備設計者等と協働した建築総合化の手法等、建築設計・工事監理実務の全体像をより深く理解することを目的とする。	建築設計・工事監理の実務にかかわるより実践的な知識を理解することにより、社会の仕組みや現代社会の問題点を理解する能力を向上させ、自律的活動ができる職能人としての自覚を形成する。											◎	○	○	
18MARC1160	建築構造設計インターンシップ	1・2	構造設計の実務実習により、設計事務所で行われる様々な構造設計・工事監理関連の実務を体験し、構造設計や工事監理の実務内容およびそのプロセス、建築・設備設計者等と協働した建築総合化の手法等、構造設計・工事監理実務の全体像を理解することを目的とする。	構造設計の実務にかかわる実践的知識を理解することにより、社会の仕組みや現代社会の問題点を理解する能力を身につけ、自律的活動ができる職能人としての自覚を形成する。			○								◎	○	○	
18MARC1140	建築設備設計インターンシップ	1・2	設備設計の実務実習により、設計事務所で行われる様々な設備設計・工事監理関連の実務を体験し、設備設計や工事監理の実務内容およびそのプロセス、建築・構造設計者等と協働した建築総合化の手法等、設備設計・工事監理実務の全体像を理解することを目的とする。	設備設計の実務にかかわる実践的知識を理解することにより、社会の仕組みや現代社会の問題点を理解する能力を身につけ、自律的活動ができる職能人としての自覚を形成する。												◎	○	○
18MARC1180	建築施工管理インターンシップ	1・2	建築施工管理の実務実習により、施工現場で行われる様々な施工管理関連の実務を体験し、施工管理の実務内容およびそのプロセス、設計者・技能者等と協働した建築づくりの手法等、施工管理実務の全体像を理解することを目的とする。	建築施工管理の実務にかかわる実践的知識を理解することにより、社会の仕組みや現代社会の問題点を理解する能力を身につけ、自律的活動ができる職能人としての自覚を形成する。												◎	○	○
18MARC1120	建築保存修復インターンシップ	1・2	建築保存修復の実務実習により、研究機関や工務店等で行われる様々な保存修復関連の実務を体験し、建築保存修復の実務内容およびそのプロセス、研究者・設計者・技能者等が協働した保存修復の手法等、保存修復実務の全体像を理解することを目的とする。	建築保存修復の実務にかかわる実践的知識を理解することにより、社会の仕組みや現代社会の問題点を理解する能力を身につけ、自律的活動ができる職能人としての自覚を形成する。												◎	○	○

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号									
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目									
					A. 高い知性				B. 善美な情操		C. 高 雅な 特性	D. 高い知性、善美な情 操、高雅な特性の総合		
					A-1	A-2	A-3	A-4	B-1	B-2	C	D-1	D-2	
18MARC2118	長期インターンシップ	2	建築設計事務所等における建築設計の実務実習により、建築設計・工事監理関連の実務を長期にわたって体験する。建築設計や工事監理の実務内容およびそのプロセス、構造・設備設計者や施工者等の多くの専門家との協働の仕方や施工の状況等を実地で学び修得することを目的とする。	建築設計・工事監理の実務にかかわる実践的知識を修得することにより、コスト、スケジュールなど様々な制約条件を理解し、これらの中で、価値基準が異なる「真」「善」「美」を互いに総合する能力を身につける。これにより、安全で、使い易く、美しい、真に人間的な住環境を創生する実践的能力を修得する。		○	○	◎		○	○	◎	◎	
18MARC1118	建築設計実務	1・2	学内外の実案件を対象にした建築設計の実務実習により、建築設計・工事監理関連の実務を長期にわたって体験する。教員の指導のもと、建築設計や工事監理の実務内容およびそのプロセス、構造・設備設計者や施工者等の多くの専門家との協働の仕方や施工の状況を実地で学び修得することを目的とする。	建築設計・工事監理の実務にかかわる実践的知識を修得することにより、コスト、スケジュールなど様々な制約条件を理解し、これらの中で、価値基準が異なる「真」「善」「美」を互いに総合する能力を身につける。これにより、安全で、使い易く、美しい、真に人間的な住環境を創生する実践的能力を修得する。		○	○	◎		○	○	◎	◎	
18MARC1211	建築設計総合演習A	1	原寸大の空間を共同で制作し、その原初的・直接的・身体的な体験により、図面や模型のみによる図式的、操作的な設計方法の矛盾を理解する。その理解に基づき、より高度で実践的な設計課題に取り組むことを目的とする。これにより、今後の実務実習において最低限必要となる実践的な設計能力を伸ばす。	住環境を、実在するモノと空間からなる存在として具体的に設計する能力の養成を通して、「真」「善」「美」を互いに総合する能力を修得し、安全で、使い易く、美しい、真に人間的な住環境を創生する実践的能力を培う。	◎	○	○	○	○	○	○	◎	○	
18MARC1213	建築設計技術演習A	1	「建築設計総合演習A」と連携し、設計課題を構造、環境・設備、施工等の技術面から検討し、諸要求に応えつつ、さまざまな制約条件を克服しながら建築空間として総合するための演習を行うことを目的とする。これにより、今後の実務実習において最低限必要となる実践的な技術・知識を学ぶ。	建築の安全性や快適性などを確保するために重要な、構造、環境・設備、施工に関する基礎的・先端的技術を修得し、理解した知識の統合により問題を解決する実践的能力を培う。	○	◎	◎	○				○	○	○
18MARC1218	建築設計総合演習B	1・2	国外に目を向け、その地域の歴史、風土、文化について深く考慮した建築を設計する。これによりグローバルな視座と歴史的価値観を養う。また、原寸大の空間を設計、制作する。その原初的・直接的・身体的な体験を通して、実際の材料に親しむとともに、図面や模型による図式的、操作的な世界と実際の空間との対応を体得することを目的とする。これにより、今後の実務実習等において必要となる実践的な設計能力を伸ばす。	住環境を、実在するモノと空間からなる存在としてより具体的に設計する能力の修得を通して、「真」「善」「美」を互いに総合する能力を身につけ、安全で、使い易く、美しい、真に人間的な住環境を創生する実践的能力をより向上させる。	◎	○	○	○	○	○	○	◎	◎	
18MARC1219	建築設計技術演習B	1・2	「建築設計総合演習B」と連携し、設計課題を構造、環境・設備、施工等の技術面から検討し、諸要求に応えつつ、さまざまな制約条件を克服しながら建築空間として総合するための演習を行う。これにより、今後の実務実習等において必要となる実践的な技術・知識を学ぶ。	建築の安全性や快適性などを確保するために重要な、構造、環境・設備、施工に関する基礎的・先端的技術を吸収し、習得した知識の統合により問題を解決する実践的能力をより向上させる。	○	◎	◎	○				○	○	○





